
山梨大学教育人間科学部附属教育実践総合センター センターだより 第35号（通巻第102号）

2005年1月31日
山梨大学教育人間科学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@sazanka.aj3.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/>

■ 第3回教育臨床研究会のご報告

特別支援教育研修として、1月19日（水）に保護者のための家庭学習を支援する学習会「教育臨床研究会」を実施しました。今年度3回目の教育臨床研究会では、講師に土肥満氏（山梨県高校教育課指導主事）、丹澤智恵利氏（勝沼小学校教諭・本学内留学生）を迎え、小学校高学年の算数指導とソーシャルスキルについて学び合いました。当日は、8名の保護者の方と附属校からの先生の参加があり、「割合」の概念などを、授業外での日常的な様々な場面で繰り返し体験してみる方法について考えることができました。ソーシャルスキルについては、十分に時間がとれませんでしたので、次回にも引き続き取り上げます。次回は3月を予定しています。

■ 教育実践研究会のお知らせ

- 日時：平成17年2月24日（木）17:00より
- 場所：山梨大学 J号館 5F 多目的教室
- 講師：奥村 圭子氏 本学留学生センター・教授
- 演題：イギリスの教育、特に大学教育から学ぶもの
- 内容：イギリスの北部にあるサンダーランド大学で10数年間教鞭をとりながら、1995年からニューカッスル大学に大学院生としても在籍していた奥村氏がイギリスの教育機関で体験、観察されたことをお話いただく予定です。イギリスでの学生生活の様子や、教員と学生との関係、さまざまな学習形態から、現在も変わりゆくイギリスの大学の実態に至るまで、生の情報が得られるいい機会となるかと思えます。現在、日本で進められている大学改革と共通することも多く、参考となることも多いのではないのでしょうか。

この研究会はサロン風のミニ研究会です。どうぞ、お気軽にご出席ください。学生、教職員、その他の多数の方々のご参加をお待ちしております。申し込みは不要、無料です。

■ 「教師のための教育相談」パンフレットについて

教師のための教育相談」パンフレットの改訂版を現在、作成中です。教育相談の日時や内容について修正をしたい先生、新しく相談スタッフになっていただける先生は、センター事務室もしくは鳥海までメールでお知らせください。現在の相談についての情報は <http://www.cer.yamanashi.ac.jp/> にてご覧いただけます。締め切りを2月10日（木）までとさせていただきます。

■第12回教育フォーラムのお知らせ

知育・徳育・体育に加え、最近“食育”という言葉がさかんにつかわれるようになりました。食は人間が生きていくうえで最も必要な行為であり、知育・徳育・体育の根幹となるものであります。“食育”という言葉が使われるようになった背景には、子どもたちの食生活の乱れがあります。特に最近では、朝食を食べずに学校に来る子どもの数が増えており、これを憂慮する声が大きくなってきています。学業や生活に大きな影響が出る以上に、「キレ」たり、ひいては犯罪行為に結びつく恐れさえ抱いている教育関係者も少なくありません。

食情報の氾濫、様々な食品開発、子どもたちを含め現代人の食をめぐる環境は様々に変化しています。便利で手軽な食事が可能になる一方で、「孤食」や栄養の偏った食生活も指摘されています。中央教育審議会でも栄養教諭の創設など食教育を進める提言を行ったところです。当日は、子どもの心と体を育む食教育のありかたについて、様々な角度から議論してみたいと思います。

- 主題：子どもの心と体を育む食教育を考えよう！
- 日時：平成17年2月19日（土） 14:00～16:30
- 会場：山梨大学工学部 工学部1号館 T1-2教室
- プログラム：

14:00	教育人間科学部代表挨拶	堀	哲夫学部長
パネリスト	甲府市立伊勢小学校校長	小林	誠氏
	韮崎市立韮崎東中学校教諭	清水	恵理氏
	山梨県立甲府城西高等学校教諭	數野	浩司氏
	スポーツ健康課保健給食担当副主査	秋山	知子氏
司 会		永井	達彦本学部客員教授
16:30	閉 会		
- 入場料：無料
- 対象者：教員／学生／大学等の研究者／県内外の教育関係者／教育・食育に関心をもたれている一般市民
- 主 催：山梨大学教育人間科学部
- 後援：山梨県教育委員会
- 問い合わせ先：

山梨大学教育人間科学部 実践教育運営委員会
〒400-8510 甲府市武田4-4-37
TEL 055-220-8127（古家貴雄研究室）
055-220-8325（附属教育実践総合センター）
- 駐車場：当日、駐車場が使用できます。駐車場担当者もおりますので、ご利用の方は、工学部の南門より、構内にご入場ください。